

「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透

西条高校は、平成30年度から5年間、文部科学省が指定するSSH(スーパーサイエンスハイスクール)に選ばれました。「なぜ」を深める科学的思考文化の浸透を重点目標として教育活動を行っています。

マルチサイエンスⅠ(2年生 課題研究) 研究経過報告会

7月9日に2年生が課題研究の経過報告会を行いました。テーマを選んだ理由や、研究手法の説明を中心に研究の経過を発表しました。指導助言をお願いした先生方や、参観いただいた他校の先生方からは、改善点などを具体的にご指摘いただき、今後の研究のヒントを得ることができました。いくつかの班の報告の様子を紹介します。

数学

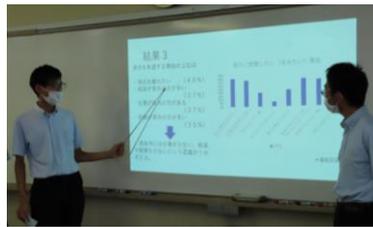
「最適停止問題から考える ～最も高値で売るには～」

新型コロナウイルス蔓延の影響により、オンラインショッピングやネットフリマなどを利用する機会が増えている。もし自分が商品売る立場で考えたとき、毎日値段が変動する中、どのタイミングで売るのが最適なのかを調べてみたいと思い、研究を始めた。



地歴

「若者が西条に帰ってきたくなる方策とは？」

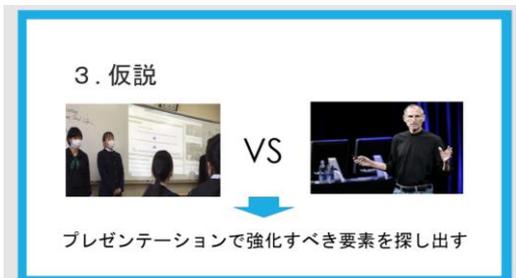


西条市の子育て世代の移住支援に対する研究は行われているが、若者世代のUターンを促進する方策については十分な言及がされていない。

本校3年生への意識調査や、成功している自治体の事例を踏まえて、西条市を離れた若者世代のUターンを促進する方策を具体的に考える。

英語

「これであなたもネイティブスピーカー?!」



英語での研究発表を行うにあたり、英語でのプレゼン力を高めたいと思った。そのために、ネイティブスピーカーのプレゼンテーションから自分たちに取り入れられることはあるか、それは、どのような点か調べてみたいと思った。

情報

「雲の写真から天気予報」

雲の写真を撮影するだけで、その後の天気と天気が変わる時間を提示してくれるAIを作ろうと考えた。たくさんの雲の写真を撮影し、その後の天気の情報にAIに学習させ、新たに撮影した雲の写真からどれくらい後まで天気を予測できるか確認する。



～参観いただいた先生方のご意見から～

- ブレインストーミングから疑問点をリサーチクエスチョンに落とし込むなど、テーマ設定の過程を聞き工夫されているなど感心した。
- 西条の特産物の研究など、SDGsの視点が盛り込まれている。
- 先行研究が調べられている点よかった。研究手法も一つではなく、複数候補から吟味して選定するのがよいのではないかと。
- 地域活性化策について、市役所だけでなく、テレビ局なども取材やテレビ制作のノウハウがある。そちらも取材してみてもどうか。

